KANAGAWA UNIVERSITY / YOKOHAMA 2026

場所〈を／が〉描く私

映画・身体・記憶をめぐる対話と実践

11.17 TUE 公開対談 × 11.18 WED 身体ワークショップ

場所を描くことは、私たち自身をどう変えていくのか。

『ヨコハマメリー』をはじめ横浜を舞台に映画を制作してきた中村高寛と、父の故郷・中国湖北省の「47KM村」を長年撮り続けてきたジャン・モンチー。二人の対話と身体ワークショップを通じて、場所を描くこと、そして場所によって自らが形づくられることの意味を探ります。



中村高寛

1975年生まれ、横浜出身。松竹大船撮影所を経て、北京電影学院で映画演出とドキュメンタリー理論を学ぶ。2006年『ヨコハマメリー』で監督デビュー。2017年『禅と骨』を監督、劇映画『ラプソディ・ラプソディ』の他、横浜みなと映画祭をプロデュース。東北芸術工科大学、日本映画大学などで映画制作の実践的な指導に取り組んできた。

ジャン・モンチー

1987年、中国湖北省生まれ。中央民族大学でダンスを学ぶ。2010年に草場地工作站の「民間記憶計画」に参加し、湖北省随州市の故郷の村で「自画像」シリーズの撮影を開始。これまでに11作品を制作し、国際映画祭で多数受賞。2020年から村に暮らしながら制作を続ける。2022年には「母親映画祭（Film for Mother）」を企画・共同開催。



11.17 TUE

公開対談 中村高寛 × ジャン・モンチー

9:00–12:30 ｜ 米田吉盛記念ホール（1階）

第1部 9:00–10:40 場所〈を／が〉描く私
両監督自身の、場所をめぐる創作について

第2部 10:50–12:00 場所〈を／が〉描く私たち
映画を通じたコレクティブな実践と教育活動について

12:00–12:30 質疑応答・交流（予定）

参加無料・申込不要
第1部・第2部、いずれかのみの参加も歓迎

11.18 WED

身体ワークショップ ジャン・モンチー

10:50–12:30 ｜ 中小ホール（5階）

映画制作と身体表現を横断して活動するジャン・モンチーとともに、身体を通じて自己と他者、場所との関係を探ります。

参加無料・要事前申込
授業受講生以外の方は学内・学外を問わず事前申込が必要です。事前申込のない方はご参加いただけません

申込はこちら → QRコード
※先着順・定員あり。申込完了メール（Googleフォームの回答控え）を当日受付でご提示ください。

会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス ｜ 横浜市西区みなとみらい4-5-3

司会進行：秋山珠子（神奈川大学）

11/17 主催：神奈川大学大学院人文学研究科　共催：JSPS科研費 基盤研究(C) 23K00224／日本映像学会アジア映画研究会
11/18 主催：神奈川大学外国語学部中国語学科　共催：JSPS科研費 基盤研究(C) 23K00224